

## 執筆者紹介

つねきけんたろう  
恒木健太郎 本学経済学部教授

### 〈編集後記〉

『専修大学社会科学研究所月報』733号をお届けします。本号では、「研究会・シンポジウム報告」の他、専修大学経済学部教授 恒木 健太郎所員の玉稿1本が掲載される運びとなりました。発行に携われた皆様様に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

恒木 健太郎所員は、多言を要すまでもなく当研究所が誇る研究の第一線で活躍する気鋭の研究者であるが、本号に掲載された論稿は、文字通り戦時下における大塚久雄によるマックス・ヴェーバー批判を議論の俎上にのせるものである。同所員は、その論考を通じて、大塚久雄の『合理的』の一義性への執着が、日本の総力戦体制の非人間性に起因していたことを「看過できない事実として提示」するなどしている。多くの議論が喚起されることを期待するものである。

(H.Y)

---

2024年7月20日発行

〒214-8580

神奈川県川崎市多摩区東三田2丁目1番1号 電話 (044)911-1089

専修大学社会科学研究所

The Institute for Social Science, Senshu University, Tokyo/Kawasaki, Japan

(発行者) 大矢根 淳

製作 株式会社グラフィカ・ウエマツ

新宿区下落合4-21-19 目白LKビル3F 電話 (03)6915-3835

---